

一般社団法人 尾道青年会議所

2024年度 第1回 理事予定者会議

融和協働

～ココロ、オドル。未来へ～



日時：2023年 9月 7日（木）19：00～

場所：グリーンヒルホテル

第1回 理事予定者会議

資料一覽

[議事次第]

1. 第1回 理事予定者会議

[理事長予定者報告]

[事務局連絡]

[資料]

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 理事長予定者・副理事長予定者・専務理事予定者所信 | 1-1~8 |
| 2. 2024年度一般社団法人尾道青年会議所 理事会構成図 (案) | 2-1 |
| 3. 2024年度一般社団法人尾道青年会議所 委員会構成図 (案) | 3-1 |
| 4. 2024年度一般社団法人尾道青年会議所 所管業務 (案) | 4-1~2 |

一般社団法人 尾道青年会議所

2024年度 第1回 理事予定者会議

日時：2023年 9月 7日（木）19:00～

場所：グリーンヒルホテル

次 第

1. 開会
2. 点鐘
3. JCIクリード唱和
4. JCIミッション唱和
5. JCI宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 出席者の確認
7. 配付資料の確認
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名
9. 議題の確認
10. 理事長予定者挨拶
11. 直前理事長予定者挨拶
12. 理事長予定者報告
13. 審議事項
 - 第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2024年度 理事会構成図（案）に関する件
 - 第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2024年度 委員会構成図（案）に関する件
 - 第3号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2024年度 所管業務（案）に関する件
 - 第4号議案 2024年度 出向者に関する件
 - 第5号議案 その他
14. 協議事項
 - 第1号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事予定者講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉会
20. 点鐘

理事長予定者報告

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 8月25日(金) | 第1回正副理事長予定者会議 | 於：事務局 |
| 9月7日(木) | 第1回理事予定者会議 | 於：グリーンヒルホテル |

事務局連絡

- | | | |
|-----------|---------------|-------------|
| 9月12日(火) | 新理事研修 | 於：グリーンヒルホテル |
| 9月15日(金) | 9月例会 | 於：尾道国際ホテル |
| | 2024年度 委員会構成図 | メンバー配布 |
| 9月25日(水) | 2024年度室合同委員会 | 於：グリーンヒルホテル |
| 10月6日(金) | 全国大会 | 於：東京都 |
| | ～10月8日(日) | |
| 10月11日(水) | 第2回正副理事長予定者会議 | 於：事務局 |
| | 上程締切10月3日(火) | 17:00まで |
| 10月19日(木) | 第2回理事予定者会議 | 於：尾道市役所 |
| | 上程締切10月14日(土) | 17:00まで |
| 10月28日(土) | 会員会議所会議(新旧) | 於：未定 |
| 11月9日(金) | 第3回正副理事長予定者会議 | 於：事務局 |
| | 上程締切11月2日(木) | 17:00まで |
| 11月22日(水) | 第3回理事予定者会議 | 於：尾道国際ホテル |
| 12月6日(水) | 第12回理事会(新旧) | 於：尾道国際ホテル |
| 12月8日(金) | 第4回正副理事長予定者会議 | 於：事務局 |
| | 上程締切12月1日(金) | 17:00まで |
| 12月18日(月) | 第4回理事予定者会議 | 於：尾道国際ホテル |
| 12月28日(木) | 第5回正副理事長予定者会議 | 於：未定 |

「 融和協働 ～ココロ、オドル。未来へ～」

2024年度 理事長 小林 暢玄

2024年度 JCI尾道 基本理念

本質を大切にし、時代に則したカタチを模索して、新たな文化を創造する。

ワクワクするまち、ひとの未来を目指し、認めあい、支えあい、高めあう。

はじめに

現在、我々を取り巻く社会は様々な課題を抱え、閉塞感で満ち溢れています。そんな中、風穴を開けていく為にはどうすれば良いのか。

日本青年会議所は戦後、荒廃した祖国を立て直す為、志を同じうする人々が集い、活動の輪を広げていきました。同様に尾道青年会議所は創立以来67年という歴史の中で、その時代にコミットしたまちづくり、ひとづくり事業を数多く展開してきました。それが我々の財産となり、尾道の歴史・魅力として残っていることを一会員として大変誇らしく感じています。

国、郷土を想い、人を想う利他の心

時代を動かし、より良い社会に変えてやるという矜持。

若者らしく変化を恐れずチャレンジする精神。

新しいものを見出し取り入れ、活用していく先見性

リーダーとしての責任を果たし、実行に移す覚悟。

諸先輩方が示された多くの精神性と行動力。そして、あらゆる力を結集し時代に則したカタチで融和させていくことが今、我々には求められています。今日まで築き上げ、連綿と受け継いでこられた意思を受け継ぎ、自分たちの想いを乗せ、次の世代に託していく。そこから生まれる我々のアクションが風穴を開け、未来を切り開いていけることを信じて精一杯、邁進して参ります。

地域と融和する

明るい豊かな社会を築く。それが青年会議所の最も大切な目標であり理念です。我々はまちを想い、そこに暮らす人々を想いながら、様々なアクションを起こしてきました。

しかしながら明るい豊かな社会を望んでいるのは我々だけではありません。行政や商工会議所、様々な地域団体、他LOM、多くの市民も。そう望んでいるはずで。

社会により大きなインパクトを与えるためには尾道青年会議所メンバーだけでなく、地域を

想う各々が持つ魅力も合わせてカタチにできるよう、我々が率先して旗振り役となることが重要だと考えます。

1人の力よりも56人の力。56人の力よりも56人以上の力。それぞれが持つ力、想いを合わせて、魅力溢れる社会となるよう共に行動を興していきましょう。

“新しい”を融和する

希望をもたらす変革の起点となる。我々は時代に先駆けて活動し、まちから求められる組織であることを理想としています。

同時に我々が生きるこの時代は国際、環境、経済、教育、情報など様々な社会において急激な変動を受け、目まぐるしく新しい概念や技術、ツールが生まれています。

そんな中、青年会議所として取り組むべきことは積極的に新たな知識や気づきを得て、まちやひとを先導していくこと。そして、時代に先駆けて取り組む我々の活動を広く世に発信していくことだと考えます。

我々が今、求められていることは何なのか。時代に合わせたニューアイデアを取り入れることで、持続可能なまちの未来を創造していきましょう。

個性を融和する

That earth's great treasure lies in human personality. (人間の個性はこの世の至宝である)

我々が長年、声を揃え口に出し、大切にしてきた言葉です。

少子高齢化が叫ばれて久しい昨今。問題は解決に向かうどころか団塊の世代800万人全員が75歳以上を迎える2025年問題が間近に迫っています。そして、この問題解決の糸口は掴めていないのが現状です。

抜本的な解決が見いだせない現状の中、我々が今、出来ることは、現状の人口でも課題解決を図れるよう、それぞれの持つ個性が生き生きと生まれ、響きあう中で相乗効果が生まれる環境を整えていくことだと考えます。

多くの人が未来に夢や希望を描けるように。そして憧れのまち、ひととなれるよう。私たち自身の個性とリーダーシップを磨き、未来を担う個性達を育てていきましょう。

会員が融和する

奉仕・修練・友情。我々は1人の力だけでは成し得ない事を、お互いの良さを出し合い、高

めあうことで、まちの為、ひとの為に事業を成し遂げてきました。

しかしながら青年会議所とは何か？何を目指し活動しているのか。市民には十分伝わっていないのが現状ではないでしょうか。それと同時に会員自身が引け目なしに胸を張って J C の良さを人に語れない現実も確かに存在します。

これを解決するためには組織をより活性化させ、時代に則した J C I 尾道の組織ブランドを確立することが必要だと考えます。会員が品格ある青年経済人として己を律し、積極的に活動に取り組める環境を整えること。会員にとって居心地の良い有益な組織であること。そして、利他の精神のもと活動の中で得たものを社会や自社、家庭に還元することが重要です。

我々からだけでなく、我々の周りの人も尾道青年会議所の魅力を伝播して頂けるよう。そして一人でも多く志を同じくする仲間が増えていくよう。メリハリとバランスを大事にし、会員一人一人が力を出し合って尾道青年会議所の未来を盛り上げていきましょう。

むすびに

ポジティブな言葉や行動は、まちをひとを勇気づけます。

前向きな考えや発想は、まちにひとに勢いを与えます。

誰かの為にと願う心は、まちをひとを幸せにします。

自分自身が未来に対してワクワクするからこそ、明るい豊かなまち・ひとの未来を描けるのだと信じています。

あなたは今日、どうですか？ココロ、オドってますか？

「想い」

2024年度 地域の魅力創造室

副理事長 山本 恭平

「JCしかない時代」から「JCもある時代」

様々な目的を持った団体が存在する中で、組織としての必要性が問われているのではないのでしょうか。そのような状況下において、「私たちにしかできない事」とは、どのような事なのかを改めて考える必要があると感じます。

青年会議所が「明るい豊かな社会の実現」を目的とした組織である以上、地域が抱える課題の本質を見極め、そこに暮らす人々が求めていることを明確に捉えた中で活動を展開していく必要があります。

これまでも、尾道青年会議所の活動はまちを活性化させ、人々を笑顔にしてきました。しかし、目まぐるしく変化していく現代社会において、多様化する問題発生が後を絶ちません。尾道の未来の為には、先輩方そして私たちが積み重ねてきた実績や経験を活かしながらも、今まで以上に幅広い視野や知恵が必要となってきます。

その為には、私たち一人ひとりが「まち」や「ひと」と真摯に向き合い、慣習や通例に捕らわれることのない柔軟な発想力と、何事にも能動的に取り組む姿勢が大切です。さらに私たちが起こす運動は、決して独りよがりな物になってしまってはなりません。先輩方が積み重ねてきた歴史、その中で育まれてきた尾道との繋がりを受け継いだ私たちが、まちの声に耳を傾け、一人でも多くの人に賛同を得た中で運動を展開していきましょう。

尾道の魅力を創造する為、日々「まち」と「ひと」を思いやる心を磨き、今まで以上にポジティブ且つアクティブに活動に取り組んでいきましょう

「人を思う心」が 想い を生み出し

「想い」は 行動 を変え

「想いのある行動」は人の 心 を動かします

「尾道」に暮らす人々に笑顔が溢れ、更なる尾道の魅力を創造する為に「まち」や「ひと」を想い活動し、共に尾道の未来を作り上げていきましょう。

「温故知新」

2024年度 まちの未来創造室
副理事長 小西琢真

今、私たちは時代の転換点を生きていると言われていています。コロナウイルス蔓延に始まり、先行きが不透明な国際社会、人口減少に伴う経済規模の縮小と働き手の減少、人工知能の発達など、社会は急激に変化しており、このような時にこそJCメンバーには、混沌という未知の可能性を切り開くリーダーシップが求められています。

創立以来67年、諸先輩方はその時代に求められるまちづくり事業を展開してきました。その歴史と伝統を誇りとしながら、若者らしい新しく自由な発想で、今の時代に求められる事業は何かを考えなければなりません。多様な価値観、輝く個性、持続可能な社会、これらは新しく生まれたキーワードですが、その根本にあるのは人が幸福に生きていくことです。諸先輩方も同じく地域に住む人たちの幸福を考え事業を展開してきました。その過去から学び、新しいまちのビジョンを作り上げる事が大切です。

そして、会員一人一人が率先してその新しいビジョンを尾道に住んでいるみんなに発信し、共感を得ることが変革の起点となるはずです。ワクワクする未来を一緒に作っていきましょう。

「挑戦」

2024年度 夢・希望・憧れ室

副理事長 沼田 剛志

現在私たちが生きるこの時代は予測困難な社会といわれていますが、社会の変化は加速度を増し、さらに複雑化しているのが現状です。

その変化に受け身で対処していくのであれば、難しい時代だと言われるかもしれません。

この様な時代だからこそ「挑戦」することが重要であると考えます。

様々な問題に直面した時、受け身ではなく挑戦することで多様な可能性を引き出すことができると考えます。

また、その積み重ねによって可能性が広がり、さらなる大きな挑戦をすることができます。そして大きな問題を克服することも可能になるでしょう。

未来は明日つくるものではありません。今日の積み重ねによってつくられるものです。まず一步を踏み出しましょう。そうすれば、次の一步も踏み出せるはずです。

「不易流行」

2024年度 組織活性化室
副理事長 中島裕一郎

現代社会の課題が激しい時代の変化により多様化・複雑化が進む中で、私たち青年会議所のメンバーは地域のあらゆる課題に対して積極的に、そして柔軟に取り組み、地域や市民へより良い変化を起こす起点となる必要があります。

しかし、いくら理想を掲げても一人で出来る事は決して多くありません。多くのイノベーションを生み出すためには志を同じくする協働者が必要です。

そのためにも改めて我々組織の魅力はなんなのか、この多様化した社会を理解しどう融和していくのかを考えるため、メンバー内外との有意義な交流と学びの機会を作ってまいります。

他者に対して行える行動こそ最大の自己成長につながります。メンバー自らが能動的に参画し互いに刺激を与え、この街にとって、青年会議所メンバーにとっての最大公約数を探し、この仲間だからこそできる最高の形を展開していきましょう。

変化の先にあるものを見据え、少しずつの変化を楽しみながら、自己満足に留まらない活動を行っていきます。

「進化への挑戦」

2024年度 専務理事
加藤 雄大

「生き残る種とは、最も強いものでも最も賢いものでもなく、最も変化に適応したものだ」

これは自然科学者ダーウィンが残したあまりにも有名な言葉です。

2020年より数年に渡り猛威を振るってきた新型コロナウイルス。

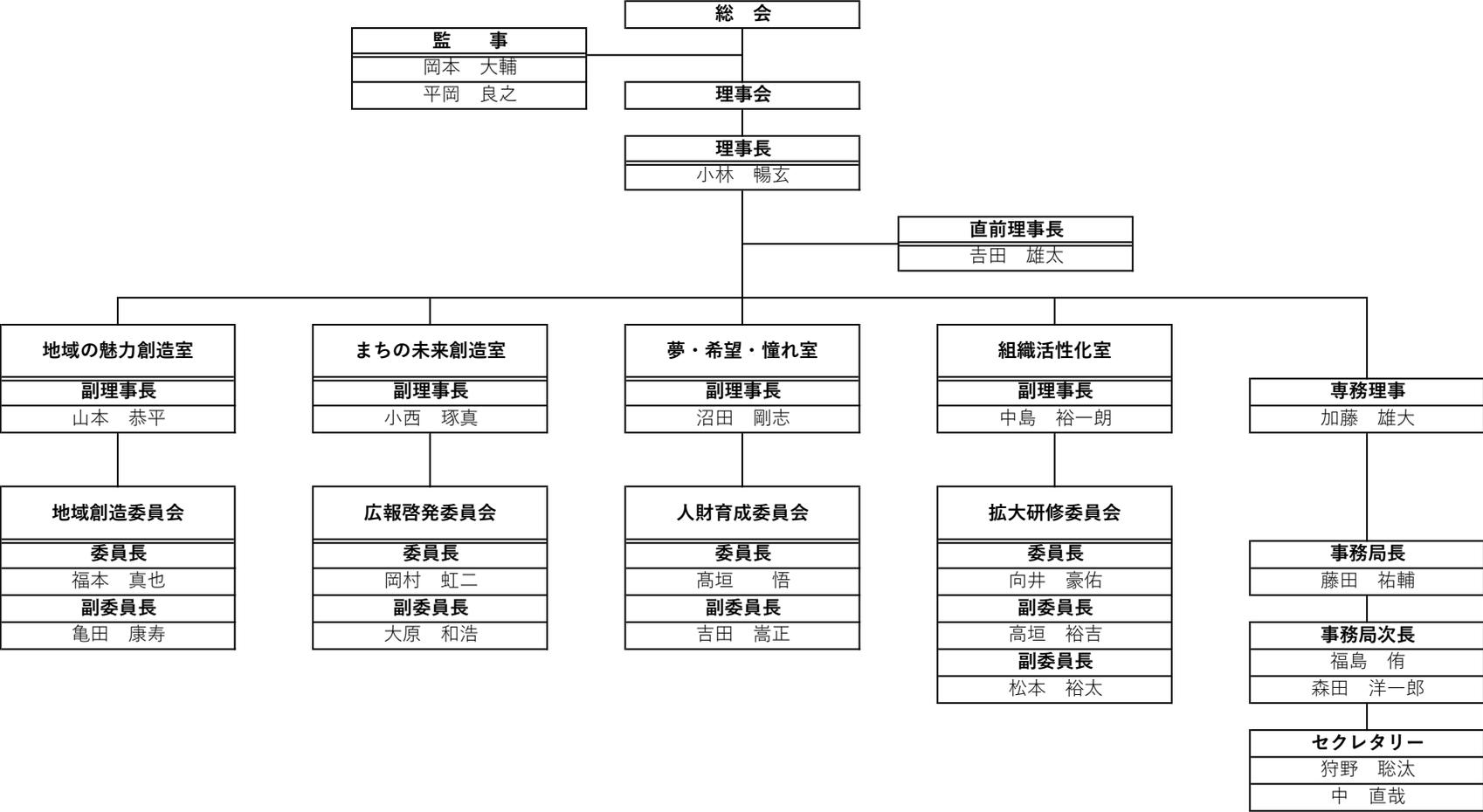
私たちは、感染拡大によってもたらされた様々な変化に適応することで、新たな考え方や手法を手にすることができました。今後もこのような社会的な変化は常に起こり、その都度変化に適応していくことが求められます。この繰り返しの中で人や組織は進化をしていくのだと考えます。

今、視界を遮っていた霧は晴れました。

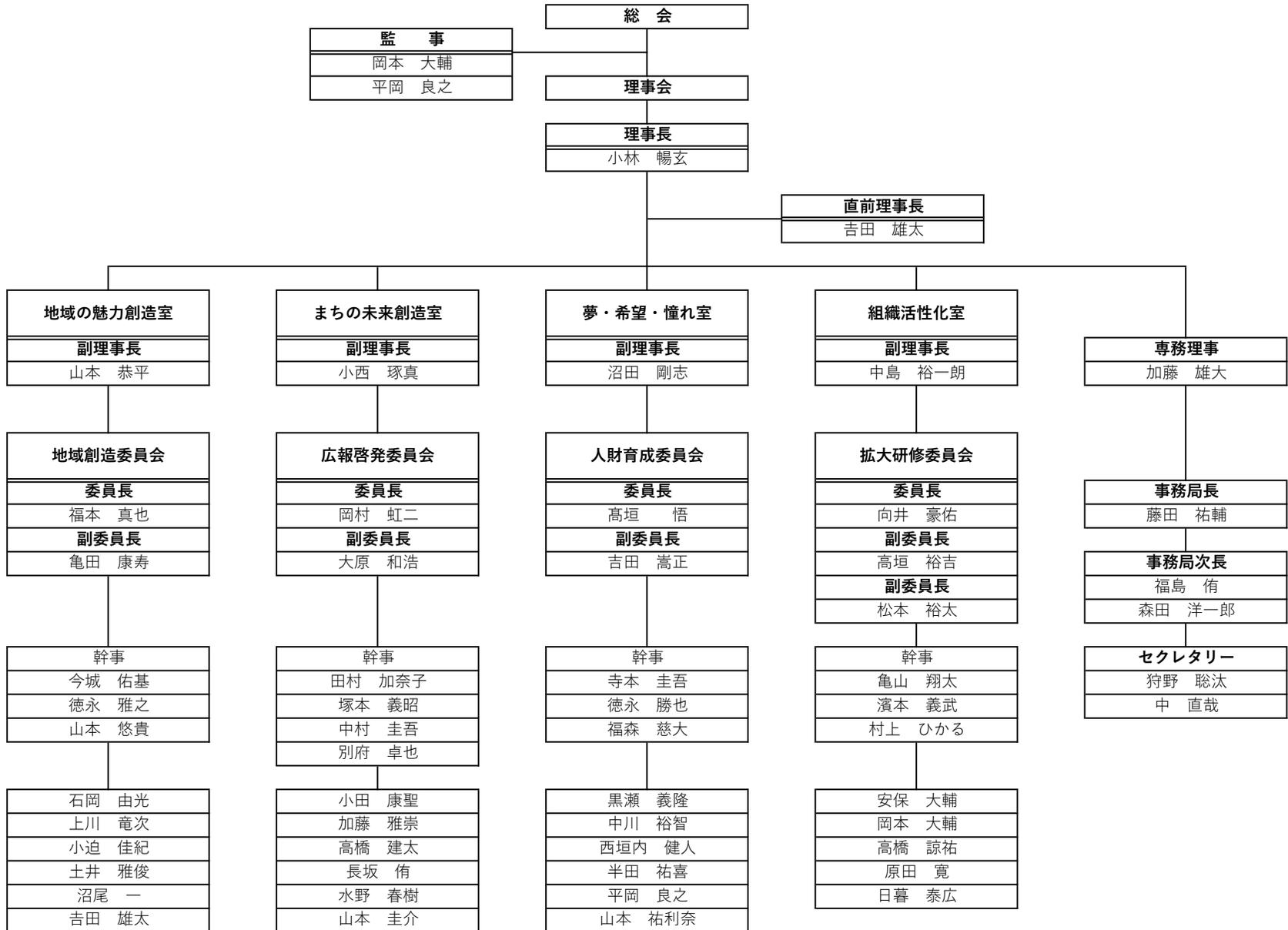
心躍る新時代を創っていくために、諸先輩方から継承してきた歴史や伝統の上に、これまで逆境の中で培ってきた学びや経験を携えて、今こそ失敗を恐れず、進化するための挑戦をする時です。

今自分が置かれている環境に感謝し、共に活動する仲間に敬意を持って接し、覚悟をもって前向きに、そして楽しく活動して参りましょう。

2024年度 一般社団法人尾道青年会議所 理事会構成図（案）



2024年度 一般社団法人尾道青年会議所 委員会構成図（案）



2024年度 所管業務（案）

【地域の魅力創造室】

地域創造委員会

市民と共に考えるまちづくり事業の調査・研究・実践	通年
新年宴会	1月
みなと祭・べっちャー祭への参画	4月・11月
他LOMとの合同例会行事	5月
例会行事	10月
会員拡大の実践	通年
尾道の伝統文化への参画	通年
他団体・NOM及び他LOM事業への参画	通年

【まちの未来創造室】

広報啓発委員会

活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年
魅力を波及させる広報事業の調査・研究・実践	通年
例会行事	6月
例会行事	9月
卒業例会	12月
会員拡大の実践	通年
尾道の伝統文化への参画	通年
他団体・NOM及び他LOM事業への参画	通年

【夢・希望・憧れ室】

人財育成委員会

未来を担う人材育成事業の調査・研究・実践	通年
例会行事	2月
家族交流例会	4月
例会行事	7月
クリスマス会	12月
会員拡大の実践	通年
尾道の伝統文化への参画	通年
他団体・NOM及び他LOM事業への参画	通年

【組織活性化室】

拡大研修委員会

会員拡大の調査・研究・実践	通年
例会行事	3月
新入会員ガイダンス	7月
夏期講習	8月
例会行事	11月
尾道の伝統文化への参画	通年
他団体・NOM及び他LOM事業への参画	通年

【事務局】

全般的な渉外と庶務の遂行	通年
各種会議の設営及び運営	通年
新理事研修	9月
会員の意識調査と提言	通年
会員拡大の実践	通年
尾道の伝統文化への参画	通年
他団体・NOM及び他LOM事業への参画	通年